



稲穂

豊崎小学校 校長室通信

令和6年 7月26日

第4号 文責 久保 亨



「ありがとう」は魔法の言葉 ～前期2/3が終了～

4月8日に始まった令和6年度も、あっという間に3か月半ほどが過ぎ、夏休みに入ります。今年度は、昨年度の夏の暑さを踏まえて、八戸市内の小・中学校は夏休み期間が1週間後ろ倒しとなりました。7月末の暑い時期までの授業となり、影響が心配されましたが、豊崎小では5時間授業として学校滞在時間を減らすなどの対策をしながら、何とか暑さをしのいで通常の活動を行うことができました。夏休み明けが1週間伸びましたが、8月下旬から9月上旬もまだまだ暑さが続くことが予想されます。引き続き、熱中症対策をしながら、子どもたちの健康を第一に活動していきます。

さて、今年度のこれまでの活動を振り返ってみますと、4月は、参観日・PTA 総会や1年生を迎える会、5月は、豊崎大運動会や遠足、田植え、いのちの会、6月は、宿泊学習や新体力テスト、7月は、親子健康会議や修学旅行など、様々な行事等を行い、充実した毎日を送ることができました。コロナ等への感染もなく、欠席0の日が、48日となりました。ここ3年間で、最多です。保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

この3か月半ほど、毎日、一生懸命に頑張った子どもたちに、夏休み前安全集会で「ありがとう」を伝えて、夏休みに入りました。実は、これまでの2年間、長期休業には毎回、私から子どもたちに1つだけ宿題を出しています。それは、「ありがとう」を毎日必ず言うことです。「ありがとう」は、相手も自分も気持ちがよくなる魔法の言葉です。保護者の皆様からも、ぜひ、子どもたちに「ありがとう」を伝えて、お互いによい気分で過ごす時間を作っていただければと思います。

子どもたちが事故のない、楽しい夏休みを過ごすことを心から願っています。

